

ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（開催結果報告）川前自治会

平成29年7月19日（水）19:00～



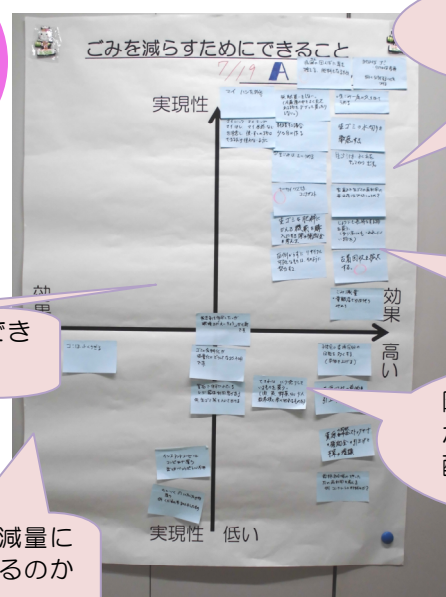
滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

グループ発表の準備中



A 班



面倒がらずにリサイクルできるものはリサイクルする！

混ぜればごみ、分ければ資源。細かく分別する癖をつける！

市は、ストックヤード補助金の引き上げと予算の確保を！

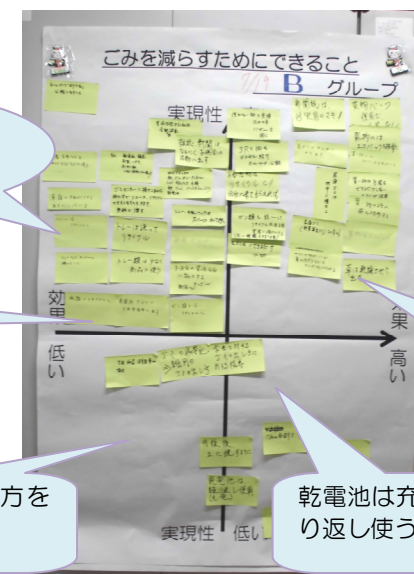
除草剤を使用したいが、環境への影響が心配です

ごみの有料化が減量にどうしてつながるのか不明です

グループ発表の準備中



B 班



エコバッグを持参してビニール袋を減らす

草は乾燥させて出す！

不要なものはリサイクルに！回収に来てもらえば！

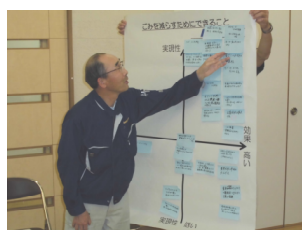
学生にごみの出し方を指導する

乾電池は充電して繰り返し使う

- 減反の田んぼへ草を捨てる（肥料にするため）
- 野菜くずはコンポストへ
- 古着回収を拡大する（川前自治会では着物も対象にします）
- できるだけ、ばら売りの商品を買う
- 生ごみの水切りを徹底する
- 料理をする場合は、少なめに作る
- ごみは小さくちぎる
- ごみにならないものを買う
- 生ごみを肥料に変える機械を購入する際の補助金を考える
- 冷蔵庫の中をよく見て、あるものをだぶって買ってしまわないなど無駄買いをしない

- 買い物にはエコバッグを持っていく
- 使わないものの交換、蚤の市、バザーを開く
- 新聞紙や段ボールは子供会の資源回収へ回す
- 家庭ごみは地中に埋める
- 新聞紙は防災用の薪にする
- 古着、古布などを切って掃除に使う
- 3Rの事例をホームページや広報などでどんどん紹介する
- ピン類の規格を統一してリサイクルに回せるよう業者に働きかける
- 野菜の切れ端、魚の内臓はコンポストに入れる

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。今回は、A・B班の2グループでした。



A班が発表します



B班が発表しました



発表に集中して耳を傾けています



講評をいただきました

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまと、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所
市民環境部 環境課